

東南アジアトッププロモーションの実施結果について

昨今の経済発展が著しく、とりわけビザ免除により訪日客が大幅に増加しているタイ及びマレーシアにおいて、「関西」の認知度向上・誘客促進を目指し、関西経済界等と連携して、下記のとおり東南アジアトッププロモーションを実施しました。

記

◎ **実施日** 平成26年11月19日(水)～22日(土)

◎ **主な参加者** 関西広域連合

井戸 敏三 連合長(兵庫県知事) <団長>
山田 啓二 広域観光・文化振興担当委員(京都府知事) <副団長>
木村 太治 滋賀県観光交流局長
大江 桂子 大阪府府民文化部長
藤本 陽司 和歌山県商工観光労働部長
林 昭男 鳥取県副知事
熊谷 幸三 徳島県副知事
糟谷 範子 京都市観光政策監 ほか

関西経済界等

福島 伸一 新関西国際空港株式会社代表取締役会長
土屋 知省 近畿運輸局長
光山 清秀 日本旅行業協会関西支部長
野島 学 関西経済連合会産業部長 ほか

◎ **概要**

<11月19日(水)>

・出発式 09:30～10:00 (関西国際空港会議室「なにわ」)

渡航に際して出発式を実施し、来賓の在阪タイ王国総領事から「関西地域との交流がますます深まることを大いに期待している」と激励を受けた。

・タイ交流レセプション 19:00～21:00 (ザ ウェスティン グランデ スクンビット バンコク)

タイの旅行会社、メディア関係者など約50名を招いたレセプションを実施し、食やマンガ・アニメを中心に、十二単着付け体験などのパフォーマンスを通じて関西の魅力を披露した。また、関西ワールドマスタースゲームズ2021をPRしたほか、関西とタイとの観光交流の架け橋となる名誉観光大使「KANSAI 観光大使」(※)を任命した。



<11月20日(木)>

・タイ政府観光庁副総裁表敬訪問 10:00～11:00 (タイ政府観光庁)

タイ政府観光庁を表敬訪問し、井戸連合長から、関西は観光資源の宝庫であることをアピールした。山田担当委員からは、観光におけるwin-winの関係構築に期待する旨の発言があり、ポンサトーン副総裁から、タイ人は関西地域が日本を代表する大経済圏で日本文化の魅力あふれる地域であることを了知しており、官民連携での相互交流に努めたい、と発言された。



・タイ政府観光スポーツ大臣表敬訪問 11:50~12:30 (タイ政府観光スポーツ省)

タイ政府観光スポーツ省を表敬訪問し、コップカーン大臣から、訪タイ外国人トップは日本人であり、2015年に展開する観光キャンペーン「ディスカバータイネス」を含め、日タイ相互交流を一層促進したい、との発言があった。特に、2021年関西ワールドマスターズゲームズの話に触れ、スポーツツーリズムによるタイと関西との交流促進に期待を寄せる旨の発言があった。



・タイ旅行セミナー10:00~11:00 (ザ ウェスティン グランデ スクンビット バンコク)

タイにおいて、関西誘客のための旅行セミナーを開催し、観光プレゼン映像やポスターパネルの展示、十二単の着付けデモンストレーションなどを行い、関西の魅力ある観光資源を「食」「マンガ・アニメ」等を中心にPRした。



<11月21日(金)>

・マレーシア旅行セミナー10:00~11:00 (プリンスホテル&レジデンス クアラルンプール)

マレーシアにおいて、関西誘客のための旅行セミナーを開催し、冒頭に土屋近畿運輸局長が、2013年12月にユネスコ世界無形文化遺産に登録された「日本の伝統的食文化」の原点は関西にあることなどを紹介したほか、タイでのセミナーと同様、旅行代理店やメディア関係の実務者に向けて、関西をPRした。



・マレーシア旅行業協会副部長表敬訪問 10:30~11:15 (マレーシア旅行業協会)

マレーシア旅行業協会を表敬訪問し、井戸連合長から、関西では関西国際空港などに礼拝所が設置されるなど、ムスリムフレンドリーに取り組んでいることなどを紹介、教育旅行や2021年の関西ワールドマスターズゲームズへの参加を要請した。ビマラ・デビ・シンナドライ副部長などから、特に食事に関するムスリムへの配慮について紹介され、関西国際空港直行便の増便支援に努力したい等の発言があった。



・関西観光展・物産展オープニングセレモニー12:00~12:50 (ワンウタマショッピングセンター)

クアラルンプール郊外の大型ショッピングセンターにおいて、関西観光展・物産展を開催した。オープニングセレモニーにて、井戸連合長による「Enjoy KANSAI, We are waiting for you!」の掛け声で開会し、ステージイベントとして、十二単、舞妓衣装の着付けパフォーマンスや、マンガ・アニメを通じた関西の紹介、クイズ大会などを行い、会場を訪れた一般来場者やショッピングセンターの買い物客などに関西観光の魅力やPRした。物産展では、関西広域連合管内の事業者が出品する計48品目の商品の展示即売を、11月30日までの10日間に渡り行う。





・意見交換会（イオンアセアン本社） 13:00～13:15（ワンワールドホテル会議室）

イオンアセアン本社と意見交換会を実施し、尾山イオン(株)執行役から、同社のマレーシア進出30周年記念事業での関西観光展・物産展の開催について謝意と歓迎を受けた。井戸連合長から、マレーシアは今後有力なインバウンド市場であり、イオン社にはぜひ関西の産品をより多く扱っていただきたいと要請した。



・マレーシア政府観光文化省表敬訪問 15:50～16:40（マレーシア政府観光文化省）

マレーシア政府観光文化省を表敬訪問し、ジュナイダ・リー・アブドゥラ審議官から、2月に大阪府を表敬訪問し、併せて相互のメディアファームトリップが実現したことを紹介された。山田担当委員から、関西は大阪・京都・神戸以外にも個性的な魅力の凝縮した地域であるとPRし、教育旅行などで子どもたちの往来を増やし、相互理解を深めたい、との発言があった。



・在マレーシア日本国大使表敬訪問 17:30～18:00（大使公邸）

在マレーシア日本国特命全権大使を表敬訪問し、井戸連合長から、ムスリムフレンドリーへの取組や、2021年関西ワールドマスターズゲームズなどについて説明した。宮川大使から、マレーシアではバドミントンに人気があり、ワールドマスターズゲームズで友好親善試合をしてはどうかと提案があり、また、マハティール前首相のルックイースト政策の現況に触れ、日本への留学生事情などに言及された。山田担当委員からは、京都に新設された留学生寮など、受入環境について返答した。



※KANSAI 観光大使

・吉川歩氏（02 Asia Travel Design 社 社長）

日本の大手ホテルチェーンのバンコク事務所としてインバウンド支援業務をサポートするとともに、旅行会社を設立し訪日に特化したタイ富裕層向けオーダーメイド旅行を企画・提供する。旅行雑誌「CUE JAPAN」では京都特集を出版するなど関西の魅力発信に貢献している。



・タナボディー バジャラシア氏（International Tourism Center 社 社長）

タイを拠点にインセンティブ、VIP、ファミリー向け訪日旅行商品企画などを手がける。兵庫県に本社を置く交通事業者と提携し、関西周遊旅行の商品造成を開始するなど、日タイの相互観光交流に貢献している。